

## 照れ隠しの一方で

「はあい！」

おはようとあいさつした私に対して、K君はこう返します。悪気はありません。照れ隠しです。私にはわかります。

「そうじゃないでしょ。『おはよう』でしょ！」

「おはようございます……。」

彼は照れたように視線を外（はず）し、こう言い直します。私も改めて彼に「おはよう」と返します。あいさつ一つに照れが隠せない彼が登校を締めくくり、朝の私の役目が完了します。

そんな彼の姿がいつもの時刻になっても見えない日がありました。欠席かもしれないと思い、学校にもどって確認したのですが、連絡は入っていません。もう一度彼を迎えにもどろうとした時、遠くの方に、ゆっくりゆっくり歩く彼の姿が現れました。

その時です。ウォーキングをしている一人の女性が、彼の方に向かって歩いて見えているのが見えました。このままでいくと、彼と女性は狭い歩道ですれ違えます。彼はどうするのかなど、私は興味津々で見っていました。

女性とすれ違う寸前に、彼は深々と頭を下げました。私が見たことのない丁寧な下げ方でした。その直後に女性の頭が下がりました。距離があったので声は聞こえませんでした。彼は明らかに女性に対して礼儀正しくあいさつをしました。

私はうれしくなりました。私の前では半分照れていても、地域の方への礼儀は忘れず、照れを克服してしっかりとあいさつができるK君であることがわかりました。そう考えると、いつも顔を合わす私の前でだけ照れて「はあい！」と言ってくるのもかわいらしく思えてきます。

「K君、さっきの女性にすっかりあいさつができたね。ここから見ていてもよくわかったよ！」

私は彼を褒めました。褒められた分照れも倍増したようで、彼は恥ずかしそうに顔を赤らめていました。この時の照れは隠しきれなかったようでした。

昨日も書きましたが、中学時代は、一人になっても生きていく方法を身に付けなければならぬ時です。立ち止まった後退したり、はたまた、遠回りしたりすることもあるかもしれない。そんな経験をしながらか、着実に前に進んでいる、それが中学生です。

社会の中でたくましく生きていくためには、勉強も大切ですが、周りに好意的に見てもらえる人間になることが必要です。あいさつはそれを実現するための、最も即効性のある手立てになりますね。